

# 第2回オリエンテーション



**事例発表② 家庭と学校の役割：国分小PTA【食育】「国分小四半世紀の取り組み」**

国分小PTAは、食育として、近隣の農家の方より24年前から農園を借りて、実際に様々な野菜を作ることに取り組んでいるという活動を発表しました。前PTA会長の染谷さんは「学校で作った野菜を家庭に持ち帰り食べるのですが、家庭で様々な会話をしている機会になりました。」とお話になりました。

第2回オリエンテーションは11月10日(金)に市川市勤労福祉センター大会議室で「今、学校で行われていること。学校・地域・PTAはどう係わるか。」というテーマで、3校のPTAの事例発表という形式で行なわれました。

**事例発表① 防犯活動の実践事例：二俣小PTA【安全安心】「地域と学校で行動する、子どもたちの安全対策への取り組み」**

二俣小PTAは防犯活動として、安全マップ作成、全児童による「かけこみ110番」のウォークラリー、校門に防犯センサー設置、下校パトロールなど様々な活動についてスライドを使って発表しました。

**事例発表③ 地域との関わり：塩浜小PTA【地域ボランティアの関わり】「市川市立塩浜小学校児童の下校時安全指導について」** 地域協力者、鈴木悦男氏を迎えて

塩浜小PTAでは地域の方々、ボランティアで塩浜小の児童の下校時に自宅まで送り届けるという下校時安全指導について、ボランティアの代表の方がその変遷や様子、効果などを発表してくださいました。始まって1年ですが、毎日のことなので本当にご苦労も多いと思いますが、子どもたちとふれあう楽しさを話していただきました。当日は143名の会員の皆様に参加されました。(妙典中・蓮見)

## 第55回千葉県PTA研究大会 (山武大会)

第55回を迎える千葉県PTA連絡協議会主催のPTA研究大会が10月7日に東金市にて開催されました。

今年の大会スローガンは「心豊かな健康でたくましい子どもを育てるために」として、子どもたちを健やかに育むために、家庭・学校・地域のパイプ役としてPTAがどう活動していくのかという観点で、県内各地より大勢のPTA会員が集まり討議いたしました。

全体会では東金市内在住の黒木安馬さんより「面白くなくちゃ人生じゃない！」というテーマで講演がありました。黒木さんは日本航空の国際線客室乗務員として30年間勤務し、その間奇抜なアイデアで世界初の1万メートル上空機上コンサートを実現させたり、自力で自宅にプールやテニスコート、コンサートホールまで造り上げた方です。講演内容もそのテーマどおりに大変面白い内容で約1時間半の講演中は絶えず会場に笑い声が起きていたり、その一方であなたは自分自身と握手ができませんか?という投げかけを行な

い、人生において成功するということはどういうことなのかを説明してくれたりであったという間の講演でした。

分科会では6つの会場に分かれ、その中の第2分科会「学校教育」にて市川市からは大野小PTAより提案がありました。発表の内容は主にコミュニケーション・システムについての説明で、コミュニケーション委員会が地域との連携に果たす役割について実例を挙げながら約30分の発表を行い、助

## 第38回日本PTA関東ブロック研究大会 (千葉市大会)



第38回日本PTA関東ブロック研究大会が10月13日・14日の両日、千葉市にて開催されました。

初日は、8つの分科会を11の会場に分け、様々なテーマでの事例発表が行われました。この中で、家庭教育(父親のPTA活動への参加)をテーマにした分科会に参加し、新潟県柏崎市立鯨波小学校PTAの事例、千葉市立

言者の先生より市川市は昔からこういう進んだシステムがあり羨ましいなどの言葉をいただきました。

今回、参加して感じたことは、同じ千葉県といえども市川市周辺と外房の市町村では抱えている問題がまったく違うということでした。しかし、これらの他の市町村の事例などをきくと収集しながら今後の我々のPTA活動に融合させていくことは、とても重要なことだと思えます。(菅野小・内盛)

2日目は、全体会を行った後、記念講演として、ジャーナリストの櫻井よしこさんが「教育が拓く未来」をテーマに、自らの取材に基づく学校現場のお話をして下さいました。

なかでも、尾道市を訪れ、「百マス計算」で知られる蔭山英男先生が校長を務められている土堂小学校でのお話で、早寝早起きをし、朝食にバランスの良い食事をし、朝からしっかりと体を動かすことで、子どもの学力が数段上昇したそうです。また、最近の研究で、70歳80歳になっても、食事を適正にとり、体を満足させて、学習の刺激を与えると前頭葉の機能が発達していくと伺いました。(平田小・佐藤)